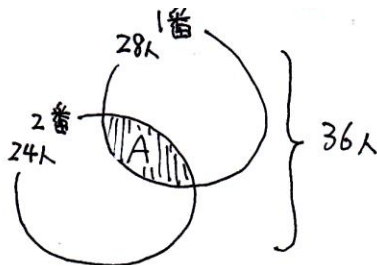


40人の生徒が3題のクイズを解きました。1番ができた人は28人、2番ができた人は24人、3番ができた人は11人でした。また、1番と2番の両方ともできなかった人は4人、1番と3番の両方ともできなかった人は7人でした。また、1番、2番、3番の全部できた人は2人いて、全部できなかった人は1人いました。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 1番と2番の両方できた人は何人ですか。
- (2) 1番ができた人中、3番ができなかった人は何人ですか。
- (3) 2番と3番の両方ともできた人は何人ですか。

(1)

アより、1番と2番のどちらかができた人は $40 - 4 = 36$ 人



Aの部分が両方できた人です。

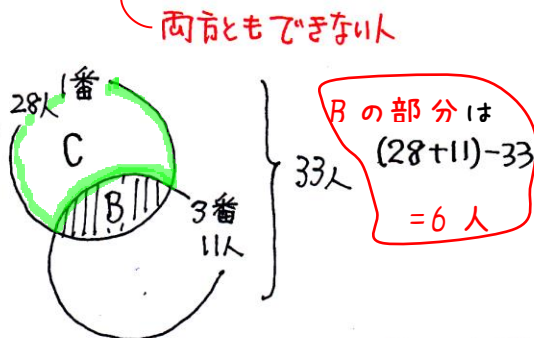
Aの部分は重なっているので、

$(28 + 24) - 36 = 16$ 人

16人

(2) (1)と同様に考えます。

(イ)より、1番と3番のどちらかができた人は $40 - 7 = 33$ 人



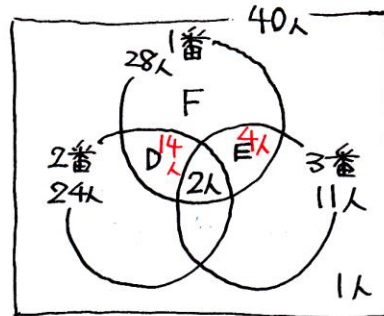
1番ができて、3番ができなかった人は Cの色つき部分です。

$28 - 6 = 22$ 人

22人

(3) 以上をまとめると下の図のようになります。 $D \dots 16 - 2 = 14$ 人

$E \dots 6 - 2 = 4$ 人

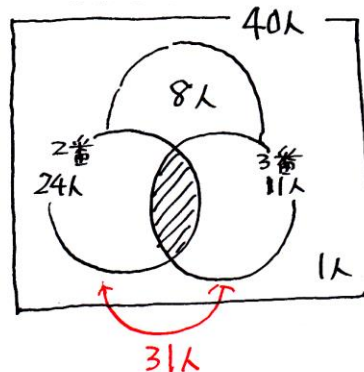


1番だけできた人(F)は、

$28 - (14 + 2 + 4) = 8$ 人

2番か3番ができた人は

$40 - (8 + 1) = 31$ 人



したがって、

2番と3番が両方ともできた人は、

$(24 + 11) - 31 = 4$ 人

4人